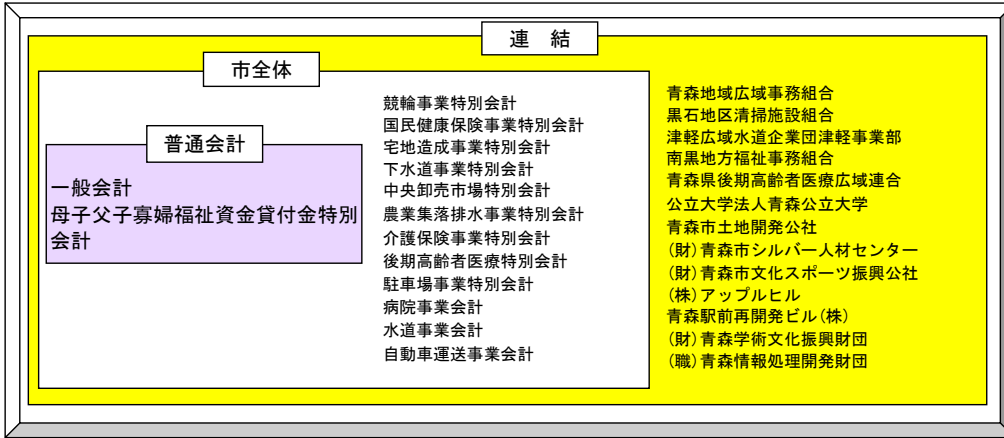


# 青森市の家計簿

青森市(連結)の「4つの財務諸表」を公表します(平成27年度)

【連結の対象となる会計など】  
一般会計はじめ27会計(団体)が、連結に含まれます。



## 【連結財務諸表の意義】

市が行う行政サービスには、一般会計を中心とした普通会計だけでなく、多様な会計や関係団体によって実施されています。

このため、普通会計の財務書類を作成するだけでは、必ずしも行政サービス全体としての地方公共団体の財務状況の全体像を表すことはできません。

そこで、地方公共団体と関係団体等を連結して1つの行政サービス主体として捉え、公的資金等によって形成された資産の状況、その財源とされた負債・純資産の状況、更には行政サービス提供に要したコストや資金収支の状況などを総合的に明らかにすることが、連結財務書類の目的といえます。これにより、地方公共団体のより一層の財務情報の透明性の向上、住民への説明責任を果たすことが期待されます。



4つの連結財務諸表を  
見てみよう!



## 行政コスト計算書

市の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示します。減価償却費など非現金コストについても計上し、経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。

経常費用	2,224億円
1. 人にかかるコスト	269億円
(1) 人件費	248億円
(2) 退職手当引当金繰入など	21億円
2. 物にかかるコスト	495億円
(1) 物件費	250億円
(2) 維持修繕費	43億円
(3) 減価償却費	202億円
3. 移転支出的なコスト	1,200億円
(1) 社会保障給付	1,076億円
(2) 補助金等移転支出など	87億円
(3) 他会計への支出	28億円
(4) その他	9億円
4. その他のコスト	260億円
公債費(利払い)など	260億円
経常収益	761億円
使用料・手数料など	761億円
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	1,463億円

## 他自治体との比較状況は?

区分	青森	弘前	八戸	函館
1. 市民一人当たりの資産(万円)	223	236	231	217
「総資産/人口」…市が保有する資産を全人口で割った額				
2. 市民一人当たりの負債(万円)	105	112	92	109
「負債合計/人口」…市が借り入れている借入金や未払金を全人口で割った額				
3. 市民一人当たりの純資産(万円)	118	124	139	108
「純資産/人口」…市が保有する資産のうち、負債を差し引いた額を全人口で割った額				
4. 純資産比率(%)	52.9	52.5	60.1	49.7
「純資産/総資産」…市が保有する資産のうち、負債を差し引いた正味の財産				
5. 社会資本形成に係る現役世代負担比率(%)	58.0	55.9	66.8	53.4
「純資産/公共資産」…道路や公園等の社会資本形成資産を現役世代で支える割合				
6. 社会資本形成に係る将来世代負担比率(%)	45.8	39.6	39.6	47.1
「地方債合計/公共資産」…道路や公園等の社会資本形成資産を将来世代で支える割合				

## 資金収支計算書

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて区分することで、どのような活動に資金を必要としているかを表示します。

期首資金残高	228億円
当期収支	9億円
1. 経常的収支	267億円
2. 公共資産整備収支	△48億円
3. 投資・財務的収支	△210億円
期末資金残高	237億円

基礎的財政収支	78億円
収入総額	2,286億円
支出総額	△2,277億円
地方債発行額	△144億円
地方債元利償還額	213億円

## 純資産変動計算書

平成27年度中の純資産(資産から負債を引いたもの)の変動額を明らかにし、どのような財源や要因で増減したかを表示します。

期首純資産残高	3,444億円
純経常行政コスト	▶ △1,463億円
財源調達(地方税、地方交付税、国・県補助金など)	1,459億円
資産評価替・無償受入	1億円
その他	△14億円
期末純資産残高	3,427億円

## 貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は、会計年度末時点(平成28年3月31日)において、市が保有している資産とその資産をどのような財源(負債・純資産)でまかなっているかを分かりやすくしたものです。左側に「資産」を表示し、右側に「負債」(将来世代の負担)と資産と負債の差額である「純資産」(これまでの世代の負担)に分けて表示しています。

人口290,721人(平成28年4月1日)

資産の部		負債の部	
1. 公共資産	5,913億円	1. 固定負債	2,708億円
(1) インフラ資産	3,244億円	(1) 地方債	2,480億円
(2) 事業用資産	2,668億円	(2) 退職手当引当金	210億円
(3) 売却可能資産	1億円	(3) その他	18億円
2. 投資等	258億円	2. 流動負債	338億円
(1) 投資及び出資金	103億円	(1) 翌年度償還予定地方債	231億円
(2) 貸付金	25億円	(2) その他	107億円
(3) 基金など	130億円		
3. 流動資産	302億円	<b>負債合計</b>	<b>3,046億円</b>
(1) 資金	237億円	<b>純資産の部</b>	
(2) 未収金等	65億円	純資産合計	3,427億円
4. 繰延勘定	0億円		
<b>資産合計</b>	<b>6,473億円</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>6,473億円</b>